

土砂災害を知ろう ～防災マップの活用を！～

土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や集中豪雨が続いた時に発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が発生する可能性があります。直ちに安全な場所に避難してください。

土砂災害警戒区域は、町防災マップの7ページから20ページに掲載しています。自分の家は区域に当てはまるかを確認してください。

土石流	急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）	地すべり
<p>山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。</p>	<p>雨や雪解け水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。</p>	<p>雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。</p>
<p>土石流の前ぶれ現象</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川の異常な濁り 流木が発生 河川内の転石の音 降雨時での水位の激減 地鳴り・ゴーという音 土臭いにおい 	<p>がけ崩れの前ぶれ現象</p> <ul style="list-style-type: none"> 湧き水量の増加 表面龍発生 小石がばらばら落下 湧き水の濁り 新たな湧き水発生 亀裂発生、斜面のせり出し 湧き水の停止・吹き出し 	<p>地滑りの前ぶれ現象</p> <ul style="list-style-type: none"> 湧き水量の増加 湧き水の枯渇 井戸水の濁り 亀裂・段差の発生・拡大 斜面・構造物のせり出し 山鳴り・地鳴り 地面の振動



土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げると土砂に追いつかれます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

問い合わせ先：総務課 防災交通室 ☎85-3080

食品の保存 ～賞味期限・消費期限正しい意味を知っていますか？～

食品には2種類の期限があります。賞味期限、消費期限、それぞれ耳にしたことがあると思います。しかし、それぞれの期限の意味は知っていますか？

コロナ禍で、おうち時間が増え、家の食材が増えたという方も少なくないと思います。もしかしたら、捨てていたけど、その必要がなかったものもあるかもしれません。この機会に賞味期限や消費期限の見方を押さえ、食品ロス削減につなげていきましょう。

	意味	表示がされている食品の例
賞味期限	美味しく食べることができる期限 定められた方法により保存した場合に、期待されるすべての品質の保持が十分に可能であると認められる期限。ただし、当該期限を超えた場合でも、これらの品質が保持されていることがある。	菓子、カップめん、缶詰
消費期限	過ぎたら食べないほうがよい期限 定められた方法により保存した場合、腐敗、変敗その他の品質（状態）の劣化に伴い、安全性を欠くこととなる恐れがないと認められる期限	弁当、サンドイッチ、惣菜

また、食品の保存方法を変え、冷凍できるものは冷凍してストックするのも食品ロスを減らすための一つの工夫です。上記を参考にして、正しく食品の期限を理解した上で、おうちにある食品も確認してみましょう。

日頃食べ慣れている食品を賞味期限内に食べることを賢く活用して、災害時などの備えとして、日持ちする食品を日頃からローリングストックしてみましょう

ローリングストック法って・・・なに？

「ローリングストック法とは、非常食を日頃から飲食し、使用した分を補充する備蓄方法です」

昔 は長期保存の効くものを買って保存を推進していた…
 普段使わないから状態・期限などを確認し忘れる
 →普段見ることがなく、災害時に賞味期限切れ・・・なんてことも少なくない。

今 できることとして、日常生活の中に食糧備蓄を取り入れよう

① 普段から 少しだけ 多めに買う
 ② 食べた分だけ 買い足す

一定量 備蓄をしよう (3～7日分)

『備蓄の鮮度を保てるし、“いざ”という時も日常と同じ食生活を維持できる』

豆知識・・・
 普段から使える保存食、飲料水、カイロ、ウェットタオル、カセットボンベ、乾電池

☆これだけでも常に一定量家庭に置いておくと、とっても役に立ちます

Point! ①古いものから使う ②使った分は補充する

問い合わせ先：健康福祉課 健康推進グループ ☎82-5541